

## Y02a 宇宙時代の天文教育への提言

高橋 典嗣(明星大学)、宮本 晃(日本大学)

宇宙時代を担う子どもたちの教育を考えていく上で、天文・宇宙に関する興味関心を深め、宇宙がより身近に感じられる教育カリキュラムを考えて行く必要がある。宇宙空間が人類の活動の新たな拠点となり、宇宙時代の到来という未来像を実現するという視点に立つと、天文教育の重要性は今後益々増大していくと考えられる。

一方、日本の理科教育の現場では、教育の荒廃が危惧され、「理科離れ」が指摘され、その解決には至っていない。

宇宙時代の天文教育を考えていく上で、現状を把握する必要があるとの認識から、学校教育の主体となる小学校3年生から大学生までの児童・生徒・学生、1301名を対象に「天文普及の現状」についての調査を2005年に実施した。内容は、用語調査、イメージ調査、体験調査で構成している。これらのデータを解析した結果、宇宙時代の天文教育の将来像を描写し、学校における理科教育の現場に介在する問題が明らかになってきた。